

各位

立山黒部貫光株式会社

平成22年度 立山黒部アルペンルート営業概況について

このたび、11月30日をもちまして、アルペンルートの営業を終了いたしましたので、標記の件について、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 入込人員	富山入込	48万7千人	前年比	101%	(+ 3千人)
	大町入込	51万4千人	前年比	93%	(- 3万9千人)
	入込計	100万1千人	前年比	97%	(- 3万6千人)
	3年連続	100万人到達			

2. 営業日	通年営業	(電鉄富山 ~ 立山 駅間)
	4月10日	部分開通(電鉄富山 ~ 弥陀ヶ原間、室堂 ~ 信濃大町間)
	4月17日	全線開通(電鉄富山 ~ 信濃大町間)
	11月30日	営業終了(立山 駅 ~ 信濃大町間)

3. 旅客の動向

国内入込客(904,100人 前年比93% 64,400人)

昨年のテレビドラマ「黒部の太陽」放送効果の反動で大町入込の個人客が大幅に減少する中、4、5月は年明けからの大都市圏でのセールス効果もあり大手旅行代理店からの団体客が好調。また7、8月には地元富山、石川の個人客向けのキャンペーンが増加につながり、前半はわずかな減少で推移した。しかし、9月は昨年のシルバーウィークの反動があり大幅に減少、増加が見込まれた10月の紅葉時期は、3連休の悪天候や異常な円高による海外旅行へのシフトにより予想ほどの集客に至らず、結果、前年実績を下回った。

訪日入込客(96,900人 前年比141% + 28,400人)

景気を持ち直した主力台湾、主要都市でのセールスを強化した韓国からの入込が昨年の減少から大幅に回復した。また香港や直セールスを本格的にはじめた中国、シンガポール、インドネシア等も徐々に増加してきており、過去最高であった平成20年度実績までには戻らなかったものの、昨年からは大幅に増加した。

(国別実績)

台湾	: 62,200人	前年比	127%	+ 13,100人
韓国	: 16,600人	前年比	280%	+ 10,600人
中国・香港	: 12,500人	前年比	134%	+ 3,100人

4. 平成22年度に実施した主なイベント等

- ・「立山・雪の大谷ウォーク」ゴールデンウィーク期間中実施(3年目)
- ・「得々きっぷ」(新ファミリーきっぷ、美女平再発見きっぷ)(3年目)
- ・富山県民感謝デー(昨年までは市町村単位で実施)、石川県民感謝デー(2年目)

5. 平成23年度営業(予定)について

おかげさまで立山黒部アルペンルートは全線開業40周年を迎えます。そこで様々な記念事業を実施したいと考えております。具体的な内容がまとまり次第お知らせいたしますので、その折はよろしく願いいたします。

- ・4月10日(日)部分開通(電鉄富山~弥陀ヶ原、室堂~信濃大町間)
- ・4月17日(日)全線開通(電鉄富山~信濃大町間)
- ・「第18回 立山・雪の大谷ウォーク」:平成23年4月17日~5月31日

以上